

第8回 鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会

議事要旨

日時：令和4年3月30日（水） 15：00～15：30

場所：摂津市役所 301会議室

■ 出席者

- | | | |
|--------|-------|-----------------------------|
| (1)委員 | 梅村 仁 | (大阪経済大学経済学部地域政策学科 教授) |
| | 榎谷 佳純 | (摂津市社会福祉協議会会長) |
| | 吉田 政和 | (摂津市自治連合会副会長) |
| | 黒田 美幸 | (公募市民委員) |
| | 林 沙也加 | (公募市民委員) |
| (2)市長 | 森山 一正 | |
| (3)事務局 | 福渡 隆 | (摂津市副市長) |
| | 大橋 徹之 | (摂津市市長公室長) |
| | 湯原 正治 | (摂津市市長公室政策推進課参事鳥飼まちづくり構想担当) |
| | 細井 隆昭 | (摂津市市長公室政策推進課参事鳥飼まちづくり構想担当) |
| | 井上 智之 | (摂津市市長公室政策推進課主幹鳥飼まちづくり構想担当) |

(以上、敬称略)

■ 内容

1. 開会
2. 答申

■ 配布資料

- 【資料 1】 答申書
- 【資料 2】 鳥飼まちづくりグランドデザイン（素案）

1. 開会

2. 答申

(1) 鳥飼まちづくりグランドデザイン（素案）について

○委員長が鳥飼まちづくりグランドデザイン（素案）について市長に答申された。

事務局： 前回の策定委員会で頂いたご意見を反映した鳥飼まちづくりグランドデザイン（素案）について、各委員へあらかじめご説明させて頂き、内容についてご了解頂いた上で、委員長ともご相談をさせて頂き、今回の策定委員会は市長の諮問に対する答申を行う場とさせて頂くこととなった。それでは委員長より、答申をお願いしたい。

委員長： 令和3年5月25日付、摂市政第33号の諮問を受け、これまで7回にわたり本委員会を開催した。鳥飼地域は地形的特徴から水害リスクが大きい地域であるが、そのリスクを正しく理解し、適切に対応することで災害の影響を軽減することは可能と考える。河川がもたらす恵みや魅力にも目を向け、自然と共生するまちづくりの観点で防災から始まり、道路・交通、少子高齢化、コミュニティ、賑わいのテーマごとに各委員から多くの意見を頂いた。頂いたご意見については、可能な限り盛り込む形で一定の取りまとめをさせて頂いたものが、今回の答申の内容になっている。

答申に当たっては、特に留意する事項として、意見を付記しているので、十分に尊重し、将来予想等の実現に向け取り組まれるよう望む。一つ目、鳥飼まちづくりグランドデザインの実現に向けた取組の着実な推進について。本グランドデザインに掲げる将来のまちづくりの方向性を参考に、関係住民等の意見を聞きつつ具現化していくとともに、着実な推進を図って頂きたい。二つ目、住民・事業者等との協働の推進について。まちづくりは行政だけでは遂行できないことを理解し、鳥飼地域の住民や事業者をはじめ、地域に関わる多様な人々や団体等が主体的にまちづくりに参画できる仕組みを構築するとともに、多様な主体の連携強化、まちづくりを推進するための協働体制の確立に努めて頂きたい。三つ目、鳥飼地域の歴史や文化を踏まえたまちづくりについて。将来のまちの姿は、その地域の歴史や、これまで育んできた文化の延長にあることを意識し、まちづくりを遂行するに当たっては、鳥飼地域の住民等に対して地域固有の歴史・文化の理解を深めるよう働きかけるとともに、地域への愛着や誇りの醸成を図る取組の支援に努めて頂きたい。

市長： 答申を取りまとめて頂き、改めて御礼申し上げます。頂いた答申の内容をしっかりと踏まえ、今後、小さくても、きらりと光る、より住みよいまちづくりを目指して尽力していく所存である。今後ともよろしくお願い申し上げます。

委員長： 市長、お言葉を頂き、改めて御礼申し上げます。また、委員の皆様、本当にお世話になり、改めて御礼申し上げ、事務局にお返りする。

事務局： それでは、委員長はじめ、委員の皆様におかれましては1年間、本当にお世話になり、改めて事務局より御礼申し上げます。

以上で鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会を閉会させて頂く。